



花づくりや花壇の管理は誰がどのように行っていますか

私たち、高城小学校の放送・栽培委員会は「心の中に花一輪」の合い言葉で四季折々の花を育てています。自分たちで育ててみたい花の種をカタログで選び、1粒1粒プラグトレイの1マス1マスに竹串を使って丁寧に蒔きました。

「美しい花の種」をたくさん蒔けば、そこから「おもいやり」や「優しさ」をいっぱい浴びた芽が出て、幸せの花がたくさん咲きます。私たちの学校を「しあわせの花」でうめつくしたい、そんな思いもあり日頃のお世話には愛情を込めて育てています。種蒔き、摘心、定植、水やり、土作り等、年間を通して様々な仕事があり大変ですが、校内を花いっぱいにして児童1人ひとりが母校に誇りを持ってほしい・・・そう願って毎年花育活動をしています。

ご近所や関係者の反応はどうか、またどのような交流が広がっていますか

学校下の梅畑を開墾して作った25㎡の花壇は、今年で4回目の夏を迎えます。子供たちの「地域の方に喜んでもらいたい」という気持ちも年々強くなってきました。また、保護者の皆様にも「自分の子供が植えた花、咲くの楽しみやよ」と嬉しそうにお話ししてくれました。地域の皆様やドライバーの皆様にも、今どんな花を植えているのか一目で分かってもらえるように花の名前を書いた看板を花壇に立てました。年々、声を掛けて下さる回数も多くなり、子供たちも張り合いを感じるようになってきた今日この頃。どんな花を植えたら皆様の心にひかれるのか、どんなふうに植えたら皆様の目を引く鮮やかな花壇作りができるのかを日々工夫しながら花作りをしています。本校は学校を訪れるお客様だけでなく、地域の皆様にも喜んでもらえるように「花で心のおもてなし。皆様を優しく包み込む花作り」を心掛けています。

